

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（ りんごのきのした農園 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)	【非該当】		小規模個人事業であり、季節労働従業員(以下「パート従業員」という。)に対して左記体制整備の必要性は現時点では低いと史料。今後も差別等の防止に取り組みつづ、事業拡大時には体制整備を検討して行きた					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)	【非該当】		同上					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)		【予定】	今後家族経営協定の締結等を通じて適正な労働時間の順守を目指す。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	外国人労働者を雇用する機会が生じている。同一労働同一賃金の原則を踏まえるとともに、他の労働者と同様の労働時間管理と労働安全衛生のルールを順守している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			現場ではパート従業員に作業工の危険項目、道具使用上の注意点等の事前説明を徹底している。万が一の為、全スタッフ(パート含む)の労働災害保険に加入済み。 職場に安全対策を講じている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)	【非該当】		雇用人数が小規模な個人事業であり、現時点では組織的対策よりは従業員間の相互確認が有効と判断している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			女性パート従業員（高齢者含む）のみならず国内外からの訪問者（学生、ホームステイ客、研修生）及び障がい者等と交流する機会を積極的に設けている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			事業専従者に財務会計、マーケティング等経営管理、その他営農組織運営に関わる教育と実践の機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			パート従業員に同一労働同一賃金の原則を適用。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	猛暑対策として、熱中症予防対策義務への対応に加えて、空調服・冷却ベスト、サングラス等を従業員向けに現物支給実施している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・農業用廃プラスチックは分別し、適正に処理している。 ・マイクロプラスチックの発生源となる資材は、どうしても枯田する必要がある場合、適切な廃棄処理を徹底す											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・電気、ガス、灯油の使用量を把握している。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			CO2の排出抑制のために、木質バイオマスを家庭用燃料として積極的に利用している。また、木質バイオマスの一部はチップ化及び炭化し、土壌還元してCO2排							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			毒物劇物取扱者の資格を有しており、農業の適正な利用及び管理を励行している。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・果樹園においては、生物多様性への配慮から除草剤及び殺鼠剤を利用していない。 ・農機具の洗浄においては、合成界面活性剤を使用していない。						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・農業機械は中古品の再活用に努めている。 ・商品開発・販売において過剰包装の排除、自然素材の活用(もみから及びSDGs推進企業登録者の提供するエコ資材)を推進中。									13		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			果樹園では下草を生やし(草生管理)、乾季における裸地からの水分蒸発を防いでいる。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			事務用品等の調達に際し、エコマーク認定商品を優先している。				3.9		6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			環境配慮に関する考え方をウェブサイトで公開中。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	太陽熱温水器の導入(2026年実施済み)							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			農業副産物(稲わら、もみ殻、ぬか、果樹・野菜くず等)を可能な範囲で再利用している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)	【非該当】		小規模事業者であり、汚職・贈賄・不正競争へその他の不正の関与への防止は相互けん制することで担保している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)	【非該当】		同上																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			種苗法を遵守し、違法な育苗を行っていない。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			パート従業員及び顧客の個人情報を適切に管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		事業形態上、鉱物は取り扱っていない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			行政、サプライヤー等のステークホルダーとは、人権保護や環境配慮、エシカル消費に対し意見を交換する機会を持っている。なお、物資の調達等において課題が生じたケースはこれまでにない。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)	【非該当】		個人経営という業務形態上、原料供給等を担う下請け側の立場がほとんどであるため、発注者側となる機会はほとんどない。このため、宣言を作成・公表することは形式行為的であり、実施する予定はない。			3				8	9	10							17	

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			法令・ガイドライン等に基づいた防除層を順守して農産品を生産している。また、生産物賠償責任保険に加入して万が一への対応をしている。			3.9									12.4					
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			農協が定める果樹の選果基準を参考に、良品の提供に努めている。 新食品表示法に対応した商品ラベルを導入している。									9								
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			リサイクル可能な瓶を用いた商品を開発している。梱包資材として、プラスチック緩衝材の代わりにのみ殻や木質端材を使用している。						6						12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			高齢化が進む地域において、耕作放棄地ないし耕作が困難になりつつある農地にて営農活動を展開している。また、規格外農産品を始めとする地域資源を6次産業化することにより、フードロスの低減につなげてい	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			農業のドリフト飛散に十分な配慮を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・行政機関、学校、福祉施設、国際協力関連組織との連携活動を通じて一般市民等の農業への関心と理解を深める活動に取り組んでいる。農福連携については2019年度から開始し、りんご・人参の収穫及び発送作業や剪定枝の整理作業等を委託し、就業の場を提供する営農活動遂行に際しては地元人材を、土木工事には地域の建築資材及び労務を活用している。6次産業化には自社農園産品をベースに、主に県内産材料を使用している。				4							11			14	15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）											8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			経営理念及び経営目標を策定し、共有している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			営農活動遂行に関連する法令に関し、研修・セミナー等で得た見識は速やかにスタッフ間で共有し、常に法令を遵守するマインドを醸成している。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）	【非該当】		個人事業であるため、特設担当部署は設けていない。																	16
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			様々なステークホルダーとは、SNSやメルマガ等の発信を通じ、日常から円滑なコミュニケーションを図るよう努めている。また同業者とは、認定農業者の会等を通じて意見交換する場を設けている。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			・農作業事故に伴う各種リスク、生産物に伴う賠償リスク、収入面でのリスクを特定し、対策を講じている。 ・温暖化リスクへの対策として、作物の多角化を実施。 ・農業収入保険へ2020年から加入済み。																	16
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・小学校、福祉施設、国際協力関連組織との連携活動を通じて一般市民等の農業への関心と理解を深める活動に取り組んでいる。 ・農福連携への取り組みを継続している。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）	【非該当】		現時点では事業継続計画は策定していない。大規模自然災害による事業停止は農業の場合、生産基盤喪失が根本であるため、対処のしようがない。									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			現時点では事業継承の計画はない。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
持続的な農業の促進① 耕作放棄地の有効活用		耕作放棄地を積極的に利用している。																	
持続的な農業の促進② 安定的な収入につながる営農活動の推進とフードロス削減		低投入型の営農形態を実践と、果樹以外の土地利用型の作目導入と食品加工を組み併せリスク分散を図る。																	
持続的な農業の促進③ 多様な農業の担い手の参加促進		女性、障がい者、高齢者、都市部からのボランティア等、多様な担い手が農園運営に参画している。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定